

## ●使用材料・使用器具

## 使用材料

キクスイ 15kg/缶  
プライマースーパーE  
グラナダ弾性 20kg/缶  
(2色組合せ)

## 使用器具

計量 秤  
下塗り エアレススプレー等  
基層塗り リシンガン又はコテ  
模様塗り兼  
模様付け 仕上げゴテ

## ●標準施工仕様

(23℃、50%RH)

床平施工仕様

| 工程                      | 使用材料                                               | 調合<br>(重量比) | 所要量<br>(kg/㎡) | 塗り<br>回数 | 工程間隔時間(hr)             |             | 備考                                       |         |
|-------------------------|----------------------------------------------------|-------------|---------------|----------|------------------------|-------------|------------------------------------------|---------|
|                         |                                                    |             |               |          | 工程内                    | 工程間         |                                          |         |
| 下塗り                     | キクスイ プライマースーパーE                                    | 15kg<br>無希釈 | 0.1～0.19      | 1        |                        | 3以上         | エアレススプレー等                                |         |
| 基層塗り                    | グラナダ弾性                                             | 20kg        | 0.8～1.0       | 1        | －                      | 6以上         | リシンガン<br>口径:4～6mm<br>吹圧:0.5～0.6MPa<br>コテ |         |
|                         | 清水                                                 | 吹付け塗り       |               |          |                        |             |                                          | 1～2kg   |
|                         |                                                    | コテ塗り        |               |          |                        |             |                                          | 0～0.5kg |
| 模様塗り<br>兼<br>パターン<br>付け | グラナダ弾性<br>(2色組合せ)                                  | 20kg        | 1.6～2.0       | 1        | －<br>配り塗り<br>兼<br>模様付け |             | 仕上げゴテ<br>(L:210～240mm)                   |         |
|                         | 清水                                                 |             |               |          |                        |             |                                          | 0～0.5kg |
|                         | 仕上げゴテなどを使用し、材料配り塗りと共に、2色<br>組合せてコテに乗せ、円弧状に意匠付けをする。 |             |               |          |                        |             |                                          |         |
| 養生撤去                    | 養生シートなどの撤去を行う。                                     |             |               |          | －                      | 直後又は<br>乾燥後 |                                          |         |
| 最終養生                    | 施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護<br>養生をする。                     |             |               |          | －                      | 24以上        |                                          |         |

## ●標準施工要領

## 1. 下塗り

- ①下塗材は、下地の状況に合わせて、適切な下塗材を選定する。
- ②下塗りは、下地の吸い込みとそのばらつきを防ぐため、だれ、塗に残しのないように均一に塗り付ける。  
コーナー部など入隅、出隅は特に入念に塗付する。

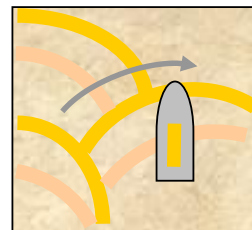
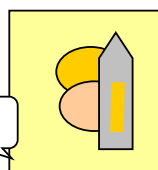
## 2. 基層塗り

- ①開缶後缶壁に付着した主材を缶内に落とし、一度均一にまぜる。
- ②主材に、指定量内の清水を加えハンドミキサーなどで均一に混合し、定められた模様になるように粘度を調整する。計量は秤などを使用する。
- ③基層塗りは、下地がスケないようにリシンガンで吹き付けるか、又はコテなどを使用し塗り付ける。

## 3. 模様塗り兼パターン付け

- ①出隅、入隅、開口部廻、大面積連続壁で意匠目地を必要とする場合は25mm幅の装飾養生をする。  
特に妻壁は各階などで、また長スパン壁は適度なスパンで装飾養生を取るようにする。
- ②主材(各色)は定められた模様になるように指定された清水を加え、ハンドミキサーなどで均一に混合する。なお、水の計量は秤などを使用し、希釈水量はあらかじめ試し塗りして決める。
- ③模様塗り兼パターン付けは仕様にあった施工用具を使用し、指定された所要量を塗り付ける。
- ④まず、2色の材料をコテ板に乗せ、2色同時にコテで2～3回軽くこねる。
- ⑤パターン付けは、コテL:210～240mm程度の仕上げゴテや丸ゴテなどを使用して、2色の材料を同時にコテに乗せ、コテ跡を円弧状に付けて、ややランダムな連波様の混色の意匠付けをする。
- ⑥パターンの大きさ、コテ継ぎの間隔などにより仕上がり感が異なるため、見本板などであらかじめ設計  
担当者に確認を行っておくようにする。
- ⑦表面皮張りが早い場合、直射日光など避けて施工する。
- ⑧模様塗り・パターン付けは上部から下部に向け施工して行く。
- ⑨各コテ跡は、丁寧にコテ跡を付けていくようにする。
- ⑩パターンは、壁全体のバランスも考慮して整える。

コテ板



## 4. 養生撤去他

- ①養生の撤去は、施工終了後直ちに行う。すぐにできない場合は、材料が完全に乾燥した後、慎重に行うこととする。なお、水切部などにバリの出ている場合は、カッターナイフで取るようにする。
- ②施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。
- ③足場つなぎ部のタッチアップ補修を行う。